



児童教育学科 教授
教職課程・実習支援
センター長
小坂 明先生

子どもたちを預かる場として、学校は安全であることが大前提である。もちろん、それは施設や設備というハード面だけを指すのではなく、子どもたちの人間的な成長をサポートするためには、そこに彼らの信頼に値するだけの教師という存在が欠かせない。

今回つかがったのは、神戸親和女子大学 発達教育学部 児童教育学科の「教職実践演習」（担当：長谷川重和教授・小坂明教授・井上正人教授）。これは、大学4年次生を対象とした全15回の講座で、これまで教職課程として履修してきた科目内容や、教育実習等を通じて身につけてきた数々の経験とスキルの集大成として位置づけられている。

今日はその第10回目。前回、学生それぞれが神戸市内の6つの小学校に出向いて観察実習を行い、校長から学校経営や教員組織の在り方についてレクチャーを受けてきたことを受け、今回はそこから得た学びと気づきを、受講する学生全員で共有する。

「学生たちは3週間の教育実習を経験してはいますが、現場の緊

張感の中では指導案作りや授業の実習に追われ、正直なところ、まったく余裕のない状態だったと思います。この『教職実践演習』のフィールドワークでは、教育実習の経験を振り返り、客観的に内省したあとにもう一度、学校現場に出向きます。だからこそ、児童たちの様子やその学校ならではの特色・課題が見えてくるわけです」と長谷川重和先生。

小坂明先生は全体会の前、自らが担当するクラスで、「神戸市内の公立小学校では、その8割が土足で上履きを使用しません。なぜかわかる？」と学生たちに問いを投げかけた。思い思いの答えを口にする学生たち。そこには明治期の開港とともに異文化を受け入れた神戸ならではの歴史や文化的背景がある。そうしたことを考え合わせると、神戸市内に土足の学校が多いことや、他地域に比べて外国籍の児童が多いことも理解できる。教育と社会、歴史的な風土と身近な生活は密接に関わりあっているのだ。長い教師経験・管理職経験を持つ、学識豊かな教授陣に学べる意味は大きい。



INTERVIEW

教員採用試験に合格した学生たちに聞いてみました！

小学生時代にミニバスケットボールで全国大会出場の経験を持つ**大澤采花さん**（4年次生）は、「小学校から高校に至るまで、多くの素敵な先生と出会い、今でもまだ連絡を取り合うなどして繋がっているんです。高校生の時には、すでに小学校の先生になりたいという思いを持っていました」と語る。親や家族以外で信頼できる大人の存在が、子どもの成長にいかに大きな意味を持っているかは多くの学識者が語っている。

一方、**宮平麻衣さん**（4年次生）も「私自身、通っていた小学校には楽しい思い出がいっぱいあるんです。教育学を学ぶことで、子どもたちとの関わりを持ちたいと自然に思いました」と、教師志望はやはり自身の経験によるところが大きいようだ。

笑顔の素敵なお二人、ともに魅力あふれる素晴らしい先生になってくれることを切に願う。



宮平麻衣さん(左)と 大澤采花さん(右)

撮影／岩井 進



児童教育学科 教授
キャリアセンター長
長谷川 重和先生

小学校でのフィールドワークを終え、様々な経験を積んできた学生たち。この後、学年全体での共有を行う



「先生になるなら、親和！」 キャッチコピーの真意を探る!!

昨今、学校現場における教師のモラルが問われている。こうした事態を受けて、私たち編集部は、教員養成で高い実績を誇る、神戸親和女子大学に向かった――



神戸親和女子大学 発達教育学部 児童教育学科
https://www.kobe-shinwa.ac.jp/faculty/human_child

これから求められるのは、
変化と多様性に向き合うか

いま、世界共通の課題として掲げられているのが変化に対応する力です。学校で教科書として習っているのは先人たちの研究成果で、その時点で実証されていることですね。しかし、スーパーコンピューターの活用やAI（人工知能）の発達によって、それまでわからなかったことが急速に解明されることも多くなりました。これからの時代は何度も新たな知識や技能を習得し、さらに上書きしていくことが求められ、柔軟でしなやかな生き方ができる能力を培うことが大切です。多様な生き方を身につけるためには、その土台となる幼少期の教育は重要性が増します。子どもたちは様々な能力を持っています。ゴルフやフィギュアスケート、卓球、体操など幼児期から一つのスポーツに注力し、活躍しているアスリートもありますが、その一方で能力はありながらも途中でバーンアウトする子どもたちも大勢います。人の一生というものをどうとらえるか、真に豊かな生き方とは何かを考える時期に来ていると思います。



山根 耕平 先生

学校法人親和学園理事長、神戸親和女子大学名誉教授。
専門：教育哲学。